

第3期下京区基本計画 令和4年度の取組状況 について

令和5年2月

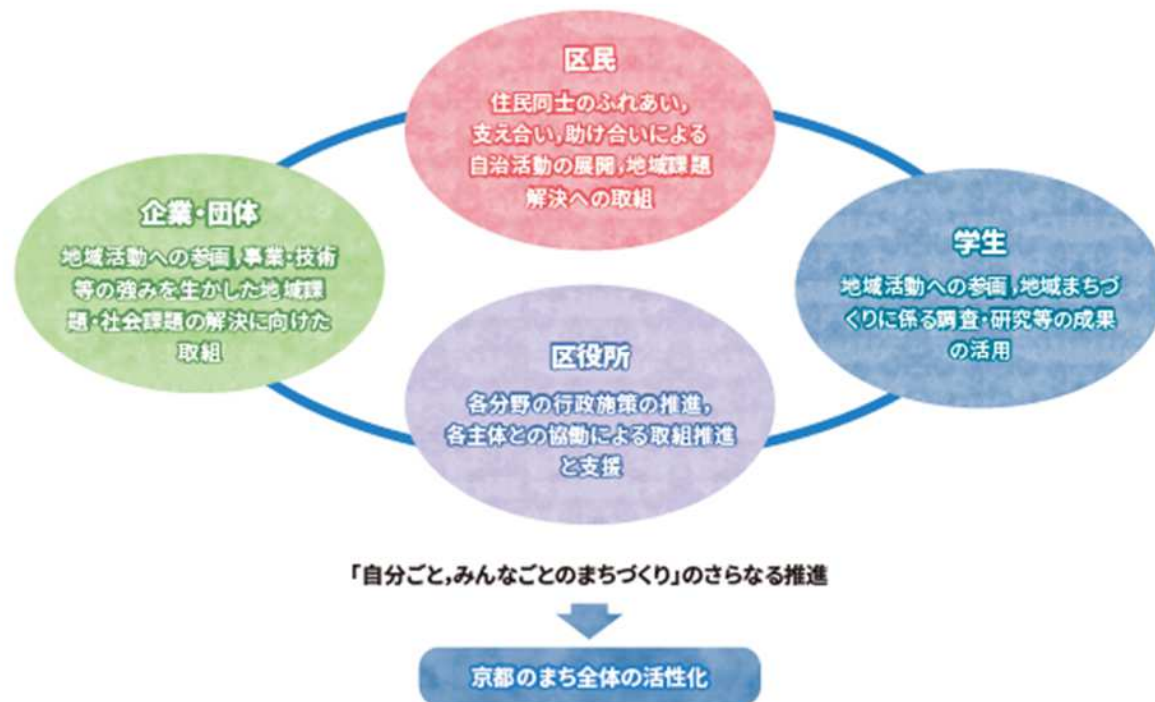
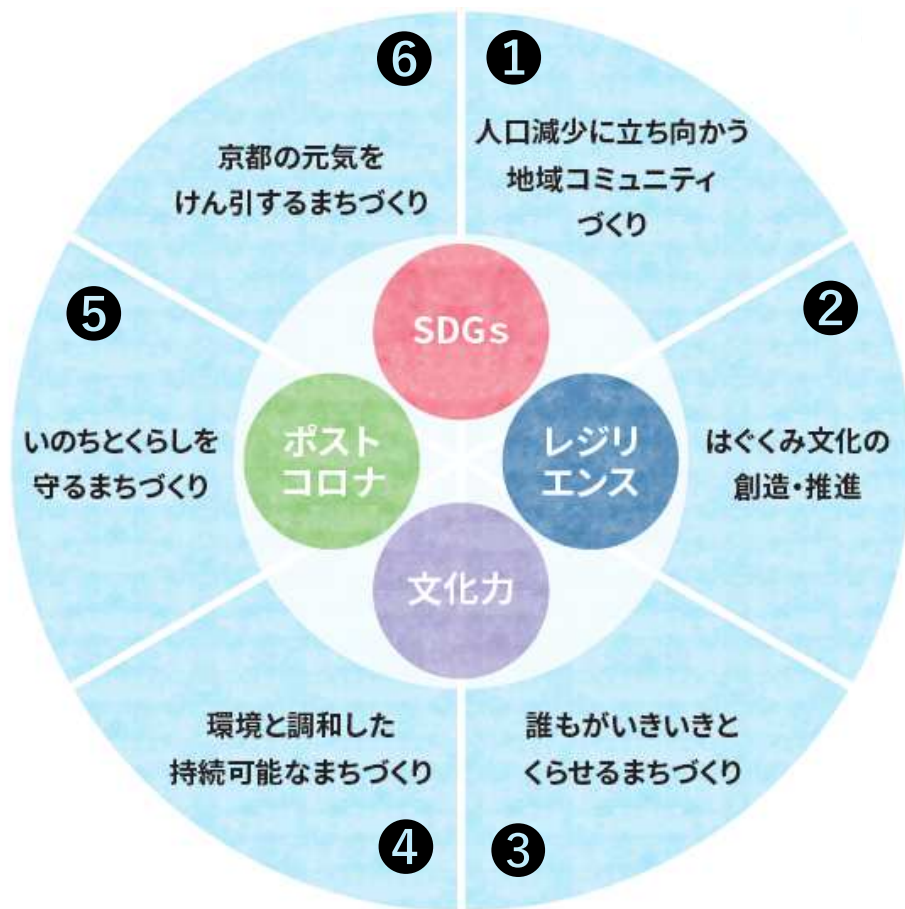


第3期下京区基本計画(令和3年度～令和7年)

重点戦略

計画の推進

区役所、区民、企業、団体、学生等がそれぞれの役割を果たすとともに、各主体が連携・協働して「自分ごと、みんなごとのまちづくり」を進めて、京都のまち全体の活性化に結びつけます。



下京区の現状・課題や現下の社会情勢を踏まえ、京都市基本計画に基づき、レジリエンス、SDGs、文化力、ポストコロナを分野横断的に捉え、区民の皆さんとともに進めていくべき政策分野として、**6つの重点戦略**を設定。下京区がめざすまちの姿の実現に向けて、14の「リーディングプロジェクト」と94の「取組例」の計108の取組を推進します。

計画の推進に当たっては、**下京区民まちづくり会議**で計画の進捗状況を報告・確認し、今後の推進施策等について議論します。

区計画推進強化事業

区基本計画に掲げる取組を、区役所と区民、事業者、団体、学生等との協働により進めるため、分野・テーマに応じて、主体的に取り組む有志メンバーからなる「チームしもぎょう」を組織し、計画の推進強化を図っています。

下京ローカルグッドレポーター

4月から、下京いきいき市民活動センター及び下京青少年活動センターの協力のもと、大学生や若手社会人を対象とした「下京ローカルグッドレポーター」を養成するための講座を実施(16名が参加)。レポーターは、SDGsを考えるワークショップや、ライター講座、まち歩き等を通じて、下京のまちを知り、魅力を発見し、自らの視点でまちの様子を伝えるレポート記事を作成した。
(レポーター記事13本は、下京地域情報サイトに掲載)



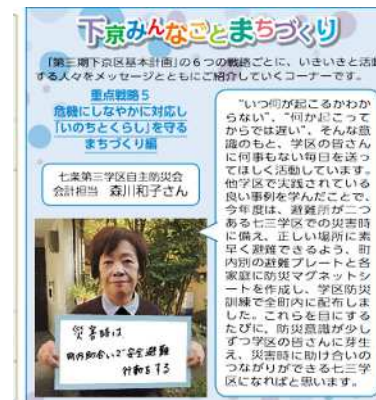
下京ローカルグッドアクション

10月から、まちの人に出会い、まちの人の想いに触れて、自分の行動でまちを良くするアクションプランを企画・提案するチーム活動を始動。毎月1回の全体ミーティングとチームごとのミーティングを実施。活動テーマは、区基本計画の重点戦略に沿った以下3つを設定。
①商店街を核としたエリア活性化 <経済>
②自然を通じた若者と住民の繋がりづくり <環境>
③高齢化する文化の担い手の継続支援 <社会>
2月19日に成果報告会を開催し、地元関係者にアクションプランを提案した。



下京みんなごとまちづくり (市民しんぶん下京区版)

「自分ごと、みんなごとのまちづくり」の推進を広く発信するため、計画の6つの重点戦略ごとに、いきいきと活動する人々をメッセージとともに紹介。8月15日号～毎月掲載。



第3期下京区基本計画の各戦略に基づく主な取組

戦略1 人口減少に立ち向かう地域コミュニティづくり

地域コミュニティの活性化に向け、多様な担い手による主体的なまちづくりを促進・支援し、自治会・町内会をはじめとする地域団体と、事業者・NPO・行政等が連携して地域課題を解決できるまちをめざします。

リーディングプロジェクト

★まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」による社会・地域課題解決の推進

令和4年度は、下京区基本計画の重点戦略に該当する活動24件採択（一般枠12件、地域まちづくり特別枠12件）。環境、子育て支援、防災、地域コミュニティの活性化など、幅広い分野の活動を支援。

3月3日には、「SHIMOGYO+GOOD」採択団体＋下京区内で活躍する事業者を招き、拡大交流会を開催予定。



推進施策

①まちづくりを担う人づくり

○下京地域情報サイトのコンテンツを充実（各学区、各種団体等と連携）

各学区からの情報や地域の魅力を発信するウェブサイト「下京地域情報サイト」を運営。「学区・団体掲示板」「下京まちストーリー」に加え、新たに京都駅周辺のまちづくりに係るイベント情報等を発信した。

また、区では新たに公式Twitterを開始し、区の情報、魅力等を広く発信。



②持続可能な地域コミュニティづくり

○区長Meet upの開催

9月に区役所と市協・自治連会長（17名参加）との懇談の場として、下京青少年活動センターにて開催。「コロナ禍での活動再開に関するアンケート調査の結果」、「京都市立芸術大学移転整備事業に関して」等について報告。



○区計画推進強化事業（下京ローカルグッドアクション）

★「社会」をテーマにしたアクションプラン

伝統産業等の担い手不足には事業者と若者が知り合うきっかけ作りが必要で、区内の事業者調査を経て、魅力を発信する動画を作成。企業関係人口を創出する一手法として提案。

○松原通界限活性化活動プロジェクト委員会の取組

誇りある松原通を次世代の子どもたちに引き継ぐために、「祇園祭関連事業」の再開を通じた洛央小学校と連携した「洛央鉦」の巡行や「日和神楽お迎え提灯灯し」を実施。修徳児童館と連携して、児童が企画する「街歩き事業」を開催。



推進施策

○崇仁まちづくり推進委員会の取組

京都芸大の伝統芸能に関わる教授や学生の協力のもと、崇仁子どもお囃子会の練習を重ね、9月に「下京・京都駅前サマーフェスタ2022」、11月に「崇仁文化祭」で披露。復元した祭り囃子や船鉾巡行の継承維持に崇仁学区住民が一体となり取り組むことで、京都芸大を核とした崇仁エリアマネジメントの一助となることを目指した。



○西七繁栄会の取組

地域のシンボリック的な存在である「七条えんま堂」を核とした西七繁栄会の賑わいづくりを目指す。10月に「七条えんま堂まつり2022」を開催。商店街だけでなく、地域の小学校、団体、大学、企業と連携することができたと同時に、プロジェクト組織を強固にすることができた。会場エリアの拡大や飲食ブースなどの初出店をはじめ、子どもの絵画展の同時開催、ガラガラ抽選会など実施の効果もあり、2日間で延べ1,000人が来場。



○下京区ふれあい事業

- ・人権講演会→戦略3で詳述
- ・下京まちなかアート→戦略6で詳述
- ・グッジョブキッズ！フェスタin下京→戦略2で詳述

○地域SNSアプリ「ピアッザ」→戦略2で詳述

○各種スポーツ大会の実施

住民の健康増進、体力の向上、地域コミュニティの活性化に向けて、下京区体育振興会連合会が地域において各種スポーツ大会を実施。

- ・下京区民グラウンドゴルフ祭(R4.5.29/38チーム(約150名))
 - ・第68回下京区民ソフトボール大会(R4.6.12/4チーム(約50名))
 - ・第54回下京区民壮年ソフトボール大会(R4.6.12/5チーム(約60名))
 - ・下京区民バレーボール祭(R4.7.3/8チーム(約80名))
 - ・下京区民ソフトバレーボール大会(R4.11.13/11チーム(約80名))
- などの大会を開催。



③社会・地域課題を解決するしくみづくり

○京都中小企業家同友会下京三支部との連携協定の推進

- ・グッジョブ！キッズフェスタin下京(ふれあい事業)に同支部が協力(3体験メニュー出展)→戦略2で詳述
- ・月1回の昼食会で区役所から情報提供、同友会の例会に区職員が参加、両者の定期的な意見交換会を開催→戦略3で詳述

戦略2 はぐくみ文化の創造・推進

地域や支援機関、企業等も含めた全ての関係者が子育ての楽しさ、素晴らしさをともに感じながら、地域ぐるみで子ども・若者・子育て家庭を大切にすることで、安心して子どもを生み育てられる環境づくりによる移住・定住促進、はぐくみ文化の創造・推進を図ります。

リーディングプロジェクト

★団体、企業等との連携により地域ぐるみで子育てを支援する「下京みらい数珠つなぎプロジェクト」の推進

子育て応援情報のウェブサイトに参加団体等の子育てイベント情報を発信するとともに、子育て支援に取り組む団体等との連携に努めた。1月に、地域力を活かして活動している支援機関を対象に、妊娠期からの夫婦への支援についての研修会を実施した。



★企業・職人等との連携による子ども・若者を対象とした職業体験や歴史講座等の実施

○グッジョブ！キッズフェスタin下京を開催(ふれあい事業) (京都中小企業家同友会下京三支部・区内事業者と連携)

親子が楽しみながら文化や伝統工芸などの魅力に触れられるお仕事体験を12月に実施。体験メニューは10種類。約220組の親子たちが参加。下京区の魅力を知り、自身が住むまちへの関心を高め、愛着を育むきっかけとなった。

- ・平安玉鳳陶苑：京焼・清水焼 絵付け体験 等
- ・京都中小企業家同友会下京三支部：ふすま・障子 張替体験 等



推進施策

①子どもと家庭をオール下京(区民、事業者、行政等)で育む環境づくり

○下京区「はぐくみネットワーク」実行委員会の取組

「子ども・若者の今と未来のために大人として何ができるか」を共に考え、行動する市民ネットワーク。令和4年度は、下京中学校や下京青少年活動センターで子どもや若者を取り巻く課題(「性の多様性を知る」、「ヤングケアラー支援の課題」、「安全で安心なインターネット利用」等)をテーマにしたミニ講座を計6回開催。



○地域SNSアプリ「ピアッザ」を活用した交流促進

同アプリを運用し、ユーザー同士が子育て情報や地域情報などを自由に交換できるようにするとともに、区政情報の発信を図った(下京区・南区エリアユーザー登録者数2,300名を超える)。また、5月と9月に交流会を開催。計112名の親子が参加。デジタルとリアルとの融合による地域コミュニティの活性化を図った。



推進施策

①子どもと家庭をオール下京(区民、事業者、行政等)で育む環境づくり

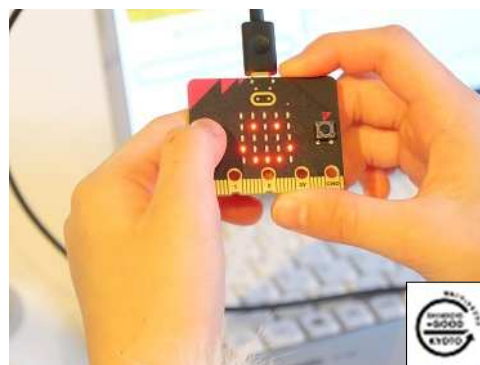
○オトナリプロジェクト実行委員会の取組

下京区への移住者・乳幼児家庭をサポートするため、イベントや講座を実施。また、地域情報や子育て支援を分かりやすくまとめた「子育て情報Map」の作成・配布に向けて、情報収集や制作を進めている。



○We Are Changemakersの取組

1月から小学生を対象とした「プログラミング×SDGs×英語」をテーマに自ら考え発信する講座を開催。身近なSDGsの課題を解決するプログラムを作成する。最終回には、自分の作品を英語でプレゼンする発表会を開催予定。



②特に支援が必要な子ども・若者・家庭等への切れ目のない支援

○児童館、つどいの広場、子育てサロン

子育て中の親子が気軽に集い、情報交換できる場である「つどいの広場」。これまで実施されている「格致つどいの広場」、「フレンドリーハウス西八条」に加えて、「つどいの広場わくわく」が新たに開設された。また、子育てサロンの円滑な再開を支援した。



④働くことと子どもを産み育てることを両立できる社会づくり

○(株)ウエダ本社の取組

子育て世代の女性や企業の広報担当者を対象に広報力スキルアップ講座を開催。11月に実施した企業向け広報講座では12社15名が参加。また、参加企業や+GOODの採択事業者へのインタビュー記事を掲載する「プラスウテナ」の発行を進めている。「子育て」と「働く」のバランスのとれた多様な働き方を広げ、企業・団体と連携した「はたらく」の提供を目指す。



戦略3 誰もがいきいきとくらせるまちづくり

世代や分野を超えてさまざまな人や団体等が連携し、住み慣れた地域の中で誰もが「笑顔」で自分らしく、生きがいを持ち、健康に安心して暮らし続けることができるとともに、互いに違いを認め合い、支え合う地域社会、人権文化を構築すること等を通じて、都市のレジリエンス向上を図ります。

リーディングプロジェクト

★「ひきこもりを考える講演会」や「家族交流会」等の開催及び個別支援の充実

○下京区ひきこもりを考える講演会

ひきこもりについて区民の理解を深めるための講演会を3年計画で実施。令和4年度は、11月にひきこもり当事者の思いを知る座談会を開催。(73名が参加)。



★「フレイルと生活習慣病の予防」による「健康長寿のまち・下京」の推進

○健康づくりサポーター(※)への活動支援

- ・梅小路公園、有隣公園を活用した公園体操(各月2回)
 - ・健康づくりサポーター養成講座(12月、2月の計2回)
- (※)健康づくりサポーターとは、自分、地域の健康づくりについて学び、楽しみながら下京区民の健康づくりを支援するボランティアです(12名登録(R5.2現在))



○健康まつり(下京区、南区合同実施)

- ・コロナ禍でのフレイル予防にちなんだ川柳・私だけの健康法を募集し、優秀作品を「すこやか大賞」として表彰し、表彰式をWeb配信。
- ・フレイル予防の動画をWeb配信。
- ・オーラルフレイル予防の講演会をWeb配信

○働き盛りの世代への健康づくり啓発

・中小企業家同友会下京三支部の昼食会(オンライン等)と連携した健康づくりミニ講話を実施(8月・11月、2月の計3回)

・野菜を中心としたよく噛む食事及び親子向けのお口のケアをテーマに、管理栄養士や歯科医師の監修で動画を制作し、情報発信を行う(3月に実施予定)。



推進施策

①異文化や多様な生き方を認め合い、誰一人取り残さない支え合いのまちづくり

○「人権講演会」開催(ふれあい事業)

1月に一人ひとりが尊重され、自分らしく生きることができる社会づくりを目指し、講演会を開催(オンライン併用)。75名参加。
テーマ:「人生の再出発～ゆっくりと階段を昇ったその先の天職～」(講師: 似顔絵アーティスト たいち氏)



戦略3 誰もがいきいきとくらせるまちづくり

推進施策

①異文化や多様な生き方を認め合い、誰一人取り残さない支え合いのまちづくり

○下京こころのふれあいネットワークの取組
(下京民生児童委員会、下京区地域女性連合会、下京保健協議会連合会、下京区シルバークラブ連合会、下京区社会福祉協議会、下京東部・西部医師会と連携)

こころの病や障害についての理解を深め、こころの健康への市民の関心を高めるとともに、地域で生活するこころの病がある市民の方への支援活動を行うための地域組織(ネットワーク)を運営。11月に講演会「ひきこもりの体験を知る座談会」を開催するとともに、区役所で作品展示を実施。



○NPO法人クリエイター育成協会の取組

障がいのある利用者の方たちが、今まで培ってきたデザインやプログラミングなどのITスキルを発揮してオリジナル作品と課題制作である絵本を作成し、展示(11月ゼスト御池、2月京都ポルタ)。優秀な作品は、出版し、市内の保育園や幼稚園などに無償配布。



②人生100年時代を見据えた健康で心豊かに過ごせ、活躍できるまちづくり

○食育セミナーの開催、食育指導員への活動支援
○お口からはじめる生活習慣病予防教室の実施

「健康長寿のまち・京都食育プラン」に基づいた栄養、食生活に関する適切な知識及び実践の普及啓発を実施。
食育セミナーを3回開催。修徳健康すこやか学級と連携した「お口からはじめる生活習慣病予防教室」を開催(11月)、参加者16名。

○梅逕自治連合会 まちづくり委員会「梅の花カフェプロジェクト」の取組

元梅逕中学校舎内に7月、「梅の花カフェ」を開設。週3～4回、地域の高齢者が集い、筋力トレーニングや趣味の催し等で交流。学区内のタキイ種苗(株)の協力を得て、花の鉢植えや種を使ったペンダントづくり、野菜の品種や栄養素の講座など毎月開催。活動は、梅逭社協、梅逭女性会、梅寿会などが主体となっており、地域住民の居場所として活用されている。



戦略4 環境と調和したくらしが根付く持続可能なまちづくり

2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」の目標達成に向け、ごみの出ない循環型のライフスタイル・ビジネスモデル・地域社会への転換、環境問題を解決するイノベーションの促進、生物多様性の保全を学ぶ機会の創出や環境に配慮した実践活動の担い手育成等を通じて、持続可能な循環型社会の実現をめざします。

リーディングプロジェクト

★地産地消や自然・生物との共生の大切さ、地球温暖化対策、 ごみ減量等について学ぶ機会の創出、環境保全の担い手づくり

○彼方此方屋の取組

廃棄衣料から出来た園芸用土で育てた綿花と反毛で織布し製品化に取り組んでいる。4年度は、15組の賛同者が加わり、より多くの綿花を収穫。2016年から蓄積している綿花と併せてを9月に紡績、11月から織布。「循環の布・京木綿」のサンプルが完成した。

※令和4年度「京都環境賞」受賞



○使い捨て時代を考える会の取組

子ども連れで参加できる親子企画や農業生産者と消費者の交流、オーガニックマルシェ、家庭料理講習、有機農業セミナー等を計15回実施。その他、みつろうラップ作り・藍染めの麻タワシ作り・春秋のマルシェなどを行い、延べ11,500人が参加した。

※令和4年度「京都環境賞」受賞



○高瀬川ききみる会の取組

多世代が一緒に高瀬川・路面電車・町家を体感するイベントを実施。

・高瀬川の生き物を探索・観察、またその環境を調べて報告する「高瀬川いきもの展」を7月と9月に開催。

・路面電車の痕跡探索ウォーク、高瀬川の歴史とその経済効果を聞く講演会を12月に開催。

・「高瀬川タイムトリップかわらばん」を2回発行。



○区計画推進強化事業(下京ローカルグッドアクション)

★「環境」をテーマにしたアクションプラン

下京区で行われている川の清掃や生き物調査に、ゲーム感覚で楽しく参加できる仕組みをつくり、住民と若者が繋がれる機会づくりを提案。

推進施策

①徹底した省エネやごみ減量、脱炭素社会に向けた取組の推進や
門掃き、打ち水など、京のまちに息づく生活習慣の継続

○下京区社会福祉協議会の取組

下京総合福祉センターの花壇を整備し、“プチ農園×福祉”ボランティア講座を実施。「人と人との繋がり、ふれあい、互いに認め合い、支え合う場の創出」として、高齢者、子ども、ひきこもりの方、障がいのある方等、多様な方が気軽に参加でき、「つながり」を実感できる仕組みづくりを展開。



○(株)夢びとの取組

コンポストの回収拠点を区内に設置し、生ごみの堆肥化による生ごみ・Co2排出量の削減に取り組む。堆肥回収イベントを6回実施。累計生ごみ削減量が3トンを超える。また、子ども向けの「循環を学び体験する授業」や企業向けの「循環企業研修」等を実施。さらに、生ごみの堆肥化にチャレンジする人に還元される「地域通貨京都祭コイン「como」」を開始した。



○(有)画箋堂の取組

廃棄される野菜や果物から絵具をつくり、その絵具で作品制作を行うワークショップを11月に開催。小学生から70代まで15名が参加。作品は同月に梅小路公園で開催された『アートフェスティバルBORDER!』で展示。約3,000人が来場した。



○資源物回収の取組

下京エコまちステーションや地域の集団回収、商業施設などで、16品目の資源物の回収を進める。

- ・使用済天ぷら油(区役所含む)47拠点
- ・乾電池(区役所含む)6拠点
- ・蛍光管(電気屋20ヶ所含む)24拠点
- ・コミュニティ回収事業167団体
- ・移動式拠点回収(有害)11回開催
- ・移動式拠点回収(まちかど)87回開催



戦略5 危機にしなやかに対応し「いのちとくらし」を守るまちづくり

区民・事業者・行政等の一層の連携強化、一人一人の防災や減災に対する意識の啓発等による「地域防災力」の向上に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。また、防犯・防火活動、交通安全対策を継続して実施し、子どもや高齢者をはじめ、誰もが安心安全にくらせるまちづくりを推進します。

リーディングプロジェクト

★工夫を凝らした防災啓発の推進(楽しみながら学べる防災訓練プログラム(体験型防災ゲーム)、防災・福祉まち歩き会、減災カフェ、避難所運営ゲームなど)

○菊浜まちづくり推進委員会の取組

「防災・福祉まち歩き」に加えて、令和4年度はペット避難に関する調査、啓発活動及びペット収容に対応した学区防災訓練などを行い、地域防災力の向上を図った。



○有隣学区まちづくり委員会の取組

避難所運営マニュアルづくりのワークショップを計6回実施。発災後～避難所立ち上げの時期の具体化を図るため、避難者の誘導・受け入れ、役割分担などを整理。学区総合防災訓練では、学区民と避難所の課題について考える機会を設けた。



○醒泉学区まちづくり委員会の取組

密集市街地に選定されている醒泉学区では、毎月第四水曜日に会議を開催。6月に実施した防災まち歩きを通し、防災マップ及び防災まちづくり計画の作成に取り組んだ。



推進施策

①レジリエントな地域づくりに向けたオール下京(区民、事業者、行政等)で取り組む地域防災力の向上

○宿泊施設との連携協定(醒泉学区、大内学区、菊浜学区)

学区の避難所の収容人数の少なさ等の課題を認識したことから、学区内のホテルとの災害時の一時避難の協定締結を目指し働きかけ、「災害時の施設利用に関する協定」を締結。

醒泉学区：アーバンホテル京都五条プレミアム(8月)

大内学区：ザ・ロイヤルパークホテル京都梅小路(8月)

菊浜学区：ホテル「丸福樓」(1月)



○下京区総合防災訓練・学区防災訓練

○コロナ禍での受付体制、避難所への職員派遣

- ・学区で実施する防災訓練に、消防署及び消防団も参加し、救命道具(AED)の使用方法、消火器を使った初期消火訓練等を実施し、自主防災会との連携を図った。
- ・学区の防災訓練において、受付設営をはじめ、段ボールベッドや災害用マンホールトイレ等、避難所運営資機材の紹介・設営を実施した。
- ・避難所への応援体制を整え、対象職員への研修を実施した。



推進施策

②下京にくらす人、働く人、訪れる人、学ぶ人、誰もが安心・安全にくらせるまちづくりの推進

○安心安全ネット継続応援事業を推進

学区において実施される防犯、防災、交通安全、子ども見守り活動等の取組に対し事業費の一部を補助する事業で、令和4年度は6学区(格致、成徳、有隣、梅逕、光徳、七条第三)を支援。



○防犯漫画、動画を作成

令和2年度に、漫画や動画を通じて、区民に防犯について学んでもらい、防犯意識を高めてもらうことを目的に、京都市立芸術大学漫画創意部(漫画研究部)の学生の協力のもと4コマ漫画を7種類作成。また、防犯を呼びかける動画も作成した。令和4年度は、市公式Youtubeでの動画公開、防犯啓発小冊子を制作し、区役所、警察署、消防署にて配布。

作成した4コマ漫画

- ・戸締り
- ・自転車盗
- ・ながらパトロール
- ・還付金詐欺
- ・フィッシング詐欺
- ・暗い夜道に注意
- ・感染症対策



○青色防犯パトロールを実施

(地域、下京警察署、区役所で連携)

- ・偶数月に警察、地域と共に青色防犯パトロールを実施。
- ・毎月14日に下京区役所単独で青色防犯パトロールを行い、合わせて京都タワーのライトアップ及び京都駅自由通路で啓発画像を掲出。
- ・10月と12月に、下京警察署にて青色防犯パトロール出発式を実施。



○各季全国交通安全・交通事故防止運動行事の開催

(下京区交通対策協議会、下京警察署、下京区役所で連携)

官民一体となり、各季全国安全運動期間等に啓発イベントの開催や市域一斉啓発活動日に街頭啓発活動などを実施。

- ・各季全国交通安全・交通事故防止運動行事 5回開催
(京都駅前広場、梅小路公園等)
- ・市域一斉啓発活動 3回開催(区内の主要交差点)
- ・その他啓発活動 5回実施
(区内保育園、区内交差点、下京署)



戦略6 京都の元気をけん引するまちづくり

起業家やクリエイティブな人々・企業を呼び込み、文化と経済の融合、異分野との交流によるイノベーションの創出、スタートアップ・エコシステムの形成を加速させるとともに、地域文化の継承・発展につながる観光推進等により、持続可能な地域経済の好循環を生み出し、京都の活力をけん引する創造的なまちづくりを進めます。

リーディングプロジェクト

推進施策

★下京区の東西エリアが交流・融合する「クリエイティブエリア」の創出 ①世界に羽ばたく起業家を支援する「スタートアップの聖地・下京」の推進

○「梅小路 commons」及び「梅小路まちづくりラボ」による、JR梅小路西駅エリアの「クリエイティブタウン化」の推進

地域の事業者や起業家を中心とした協議体「梅小路 commons」の事業体となる「(株)梅小路まちづくりラボ」。5月に梅小路京都西駅エリアにおけるクリエイティブタウン化推進拠点となる「Umekoji MArKET」を開業。2月の学習交流会では、梅小路エリアで活動する事業者間の交流を促進した。



○創業・イノベーション拠点(淳風bizQ)

旧下京図書館及び元淳風小学校の一部の区画を、スタートアップ企業等を対象にしたオフィス兼交流施設として活用し、若者や起業家・クリエイティブな人・企業が集まり、スタートアップや地域企業が交流・連携をすることでイノベーションが生まれ続けるまちを目指す(入居事業者:8社)。入居企業による地域交流イベントやフルオープン1周年記念イベントなどを、計6回開催。



推進施策

②京都芸大移転を生かした芸術活動と地域・生活文化の融合

○下京まちなかアート(ふれあい事業)

3月1日～3月26日、まちなかのさまざまなスポットを訪れながら、アート作品や演奏など身近に芸術にふれられるイベントを実施する。京都芸大生や卒業生、銅駝美工や区内の小中高等学校に通う方々の作品を区内各所に展示。その他:展示会場を巡るスタンプラリー、東本願寺前市民緑地での音楽演奏、ダブルダッチのパフォーマンスを併せて実施。文化芸術を基軸としたまちづくりの推進に寄与するとともに京都芸大移転に向けた機運を醸成する。(南区と共同実施)



○「京 七条仏所跡 七条町家物語プロジェクトチーム」の取組

景観重要建造物である京町家・田中家を舞台に、京都芸大生が主体となり、NPO、地域住民、地元企業等と連携し、ワークショップや企画展示を開催。令和4年度は、ワークショップ23回、見学会5回開催。8月に実施した「まちやのまつりなつのしつらえー」では、子ども向けワークショップやオープンハウスを実施(108人来場)。3月に周辺店舗と連携したイベントを実施予定。



推進施策

③地域と調和した京都駅、梅小路周辺のさらなるにぎわい創出と回遊性向上

○梅小路京都西・七条通賑わいづくり協議会の取組

梅小路京都西駅・七条通の賑わいづくりや京都の食文化の魅力向上を目的に活動。令和3年度は同エリアの清掃活動を毎月第3木曜に実施。令和4年度観光庁補助事業「看板商品創出事業」に採択され、梅小路エリアにある中央市場やホテルと連携し「デジタルマップ」の作成や、地域全体の活性化を狙うイベントを企画・実施。

○東本願寺前における市民緑地整備に向けた機運醸成事業の実施

地域活性化と京都駅から東本願寺界隈への回遊性の向上を目指し、東本願寺前「市民緑地」を整備するにあたり、地域住民、商店街及び東本願寺関係者などから整備後の利活用方法を定めるルール及び運用体制等の検討、意見聴取の場を設ける等の機運醸成の取組を進めた。

- ・関係者会議 全体会議3回、ワーキング3回
- ・愛称募集を通じた市民緑地の周知
- ・エフエム京都ラジオによる市民緑地の周知
- ・おひがしさん門前未来プロジェクトと連携した市民緑地の周知



○梅小路みんながつながるプロジェクト

(JR西日本ほか54団体が連携)

梅小路エリアの回遊性の向上・賑わいづくりを目的に、梅小路ハイラインの開催、合同清掃活動、京都・梅小路フォトコンテスト、季節ごとのキャンペーン、まちのトリビア募集等を実施。

○キャンドルナイト梅小路「伝燈祭」2022(ふれあい事業)

(梅小路エリアの6施設(UGK)とふれあい事業実行委員会、区役所が連携)

10月、梅小路エリアへの誘客等を通じて下京区の活性化に取り組むことを目的に「灯り」をテーマとしたイベントを実施。各会場に区民等が絵やメッセージを描いた行灯を展示(計約1,500基)。また、各会場を巡回する弦楽アンサンブル公演も行った。



○下京・京都駅前サマーフェスタ

(西本願寺、東本願寺、京都駅ビル開発㈱、下京区役所)

まちの賑わいづくりを目的に8~9月に開催。ステージイベント、デジタルスタンプラリー、龍谷ミュージアム講演会、重要文化財特別公開、門前 petit marche、ひんやり商店街などを実施した。



④地域コミュニティの核となる持続可能な商店街づくり

○区計画推進強化事業(下京ローカルグッドアクション)

★「経済」をテーマにしたアクションプラン

七条通の商店街を舞台に、食材を購入・シェアする「ランチングエコノミー」など、商店街を楽しむ企画、提案、発信を行い、商店街に若者の居場所ができる仕組み作りを行うプランを提案。